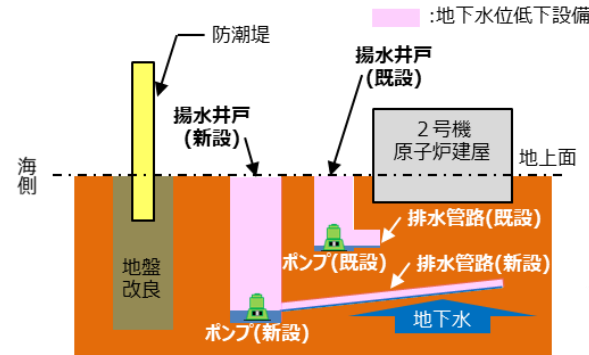


- 「**地下水位低下設備の信頼性向上対策**」や「**竜巻防護ネットの設置工事**」に加え、従来から計画していた「**防潮壁の設置工事**」は、狭隘な2号機海水ポンプエリアで実施。
- **各工事は、施工エリア、重機等のアクセスルート、資機材の保管エリア等が干渉する**ため、現場工事工程の調整を行った結果、**2022年度の工事完了**を目指していくこととした。

【審査を踏まえ追加・変更が必要となった工事の例】

① 地下水位低下設備の信頼性向上対策

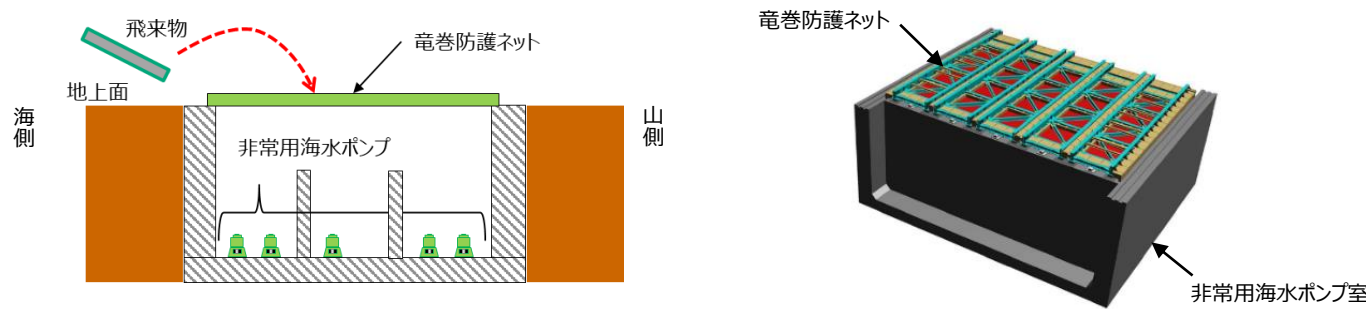
- 地震による地盤の液状化により、防潮堤が沈下することを防止するために、防潮堤下部の地盤改良を実施
- これにより、海側へ流れる地下水が遮断された状態となり、敷地内の地下水位が上昇し、原子炉建屋等の周辺地盤に影響を与えるおそれがある
- このため、地下水を汲み上げて排水する既設の地下水位低下設備の耐震性を確保するとともに、設備を追加設置することにより、当該設備の信頼性向上を図る



<地下水位低下設備 (揚水井戸・排水管路) 概要図>

② 竜巻防護ネットの設置工事

- 竜巻による飛来物により、屋外に設置されている原子炉機器などの冷却に必要な海水ポンプが損傷することを防止するために、当該ポンプ室の上部に竜巻防護ネットを設置
- 竜巻防護ネットに対する飛来物の衝突影響を踏まえて、当該設備の支持部に採用する部材の仕様を変更

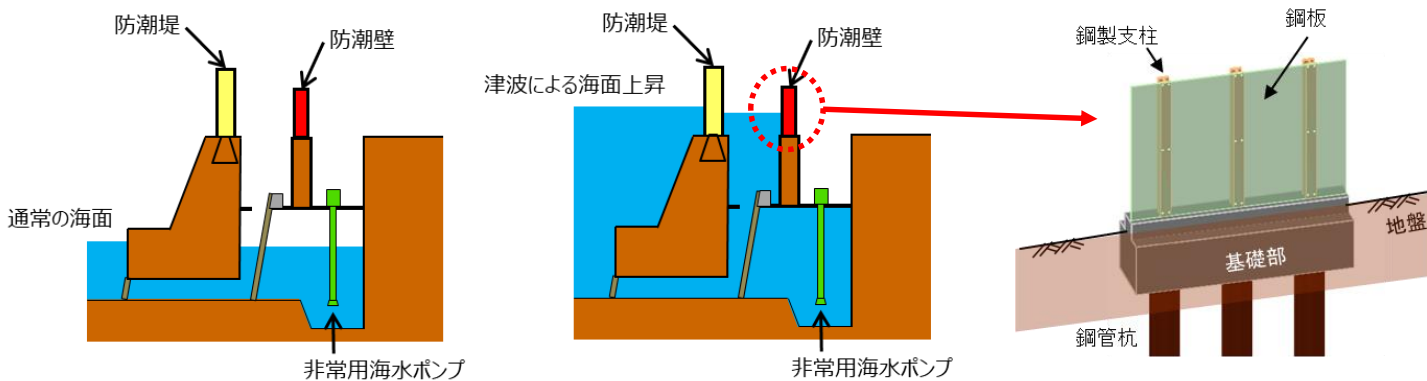


<竜巻防護ネット 概要図>

【上記工事と作業エリアが干渉する工事の例 (従来から計画)】

③ 防潮壁の設置工事

- 津波による海面の上昇により、海とつながっている開口部から敷地に海水が溢れ出るのを防止するために、防潮壁を設置 (鋼製パネル一体型の構造)



<防潮壁 概要図>

【2号機海水ポンプエリアでの作業】



	工事内容	作業予定エリア (イメージ) * 上図赤枠の拡大図
①	地下水位低下設備の信頼性向上	防潮堤、開口部、非常用海水ポンプ、循環水ポンプ、2号機原子炉建屋、2号タービン建屋
②	竜巻防護ネットの設置工事	開口部、非常用海水ポンプ、循環水ポンプ、2号機原子炉建屋、2号タービン建屋
③	防潮壁の設置工事	開口部、非常用海水ポンプ、循環水ポンプ、2号機原子炉建屋、2号タービン建屋

- 凡例
- : 地下水位低下設備作業予定エリア
 - : 竜巻防護ネット作業予定エリア
 - : 防潮壁作業予定エリア
 - Ⓟ : 地下水位低下設備 (揚水井戸・ポンプ)
 - : 竜巻防護ネット
 - : 防潮壁